

第2回総合体育館周辺エリア未来ビジョン検討会議 議事録

1. 日 時 令和6年10月16日(水) 15時00分～17時00分

2. 場 所 松江市役所本庁舎本館3階 第二常任委員会室

3. 出席者

(1) 委員 (8名/10名中)

秋田蛍太郎委員、太田敦久委員、繁浪均委員、白水照之委員、堰大輔委員、
高須佳奈委員、中村律委員、湯町信夫委員

<欠席：永澤瑠奈委員、松本朝子委員>

(2) アドバイザー 佐々木克憲氏

(3) 事務局

松浦理事、井上都市整備部長、服部都市整備部次長

政策企画課：井原課長

商工企画課：西田課長

スポーツ課：佐々木課長

都市政策課：陶山課長

公園緑地課：藤原課長、福田係長、石富副主任

4. 次 第

1. 開会

- ・開会の挨拶(事務局)
- ・出席者紹介

2. 報告

- (1) 松江市の各種計画の状況について
- (2) アンケート結果報告
- (3) 事例紹介(中村委員、佐々木アドバイザー)

3. 議事

- (1) エリア構想の方向性(意見交換)
- (2) 目指すべき将来像

4. その他

- ・今後のスケジュール確認
- ・閉会の挨拶(事務局)

5. 会議経過(別紙のとおり)

1. 開会

(藤原公園緑地課長)

本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。ただいまから、第2回総合体育館周辺エリア未来ビジョン検討会議を開催させていただきます。私は、本日の進行を務めさせていただきます、公園緑地課の藤原と申します。本来ですと政策企画課の井原が進めさせていただき予定でしたが、前の会議が長引いておりますので、代理で進行させていただきます。それでは、開会に当たり、理事の松浦がご挨拶申し上げます。

(松浦理事)

ご紹介いただきました、松江市の理事をしております松浦と申します。本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日は2回目ということで、前は概要の概要ということで、こういったことこういった議論を進めていただくかということという話をさせていただいたと思います。今回はさらに松江市の他の各種計画について、総合体育館周辺エリアがどのような位置づけになっているか、整合性がどのようにとられているか、まずは事務局から説明させていただきます。それを踏まえ、委員の皆様方には、将来に向けて本エリアがこういった機能を持った方がいいのか、不足しているのか、追加した方がいいのか、念頭に置きながら議論を進めていただけたらと思います。最後まで時間の許す限り、熱心な議論をよろしくお願いいたします。

(藤原公園緑地課長)

続きまして、出席者のご紹介ですが、アドバイザーのご紹介のみとさせていただき、委員の皆様には大変恐縮ですが、時間の都合上、お手元の席次表により代えさせていただきますと思います。また、永澤委員におかれましては、体調不良により欠席となりましたのでご承知おき下さい。

アドバイザーのご紹介です。今回より新たにアドバイザーとしてご参加いただきます独立行政法人都市再生機構西日本支社中国まちづくり支援事務所の佐々木所長様です。佐々木様には、後ほど事例紹介をいただきますので、ご挨拶は其中で賜りたいと存じます。

これより議事の進行は、要綱の規定によりまして、会長が議長を務めることとなっておりますので、太田会長どうぞよろしくお願いいたします。

2. 報告

報告(1) 松江市の各種計画の状況について

(太田会長)

会長の太田でございます。本日は第2回目の検討会議にご臨席賜りまして誠にありがとうございます。皆様方のご意見を本日は楽しみにしております。長丁場になりますが、よろしくお願いいたします。

それでは、議事の報告事項に入らせていただきます。資料の公開につきましてお諮りしたいと思います。

本日の会議につきましては、「松江市情報公開条例」及び、それに基づく「審議会等の公開に関する要綱」の規定により、原則公開となっております。ただし、審議内容に非公開情報は含まれる場合は、審議会の決定により公開しないと規定されています。

本日、この後、中村委員と佐々木アドバイザーから事例紹介いただく資料データにつきましては、著作権等の理由から非公開とさせていただきたく思います。その他会議資料につきましては、公開とさせていただきたいと思います。

委員の皆様、この件につきまして賛成いただける方は挙手をお願いします。

(挙手)

ありがとうございます。それでは、事例紹介資料データのみ非公開とさせていただきます。それでは、「(1) 松江市の各種計画の状況について」報告させていただきます。事務局から報告をお願いします。

(藤原公園緑地課長)

会議資料の4ページをご覧ください。はじめに前回会議のふりかえりをご確認いただきます。前回会議で協議した内容は4点ありました。全体スケジュールの確認、エリア周辺の現状把握、エリアにある機能・ない機能についての意見交換、市民アンケート実施について、ご承認いただきました。前回会議ではいくつかご質問いただきましたので、その内容について回答をさせていただきます。

1点目、「本ビジョンはどこまでの期間を見通して検討するものか」について、令和8年9月の総合体育館アリーナ改修完了が最初のマイルストーンになると考えております。「松江市総合計画(MATSUE DREAMS 2030)」の終期(令和12年度)に、事業検証がスタートしていることを想定しております。

2点目、「賑わい」について、「具体的にだれがどのように活用することか(ペルソナ)を会議の議論を踏まえてまとめてほしい」について、本検討会議でビジョンを固めたのち、具体的な検討を進める前にペルソナの深掘をしていきたいと考えております。

3点目、「現在エリアにある機能について、委員からの意見を踏まえて再整理するとともに、現在ある機能でも不十分となっている機能がないか検討すべきである」について、本検討会議で議論の方向性を踏まえ、現状の機能においても不十分なものがないか、検証を進めたいと考えております。

続いて5ページをご覧ください。本エリアが本市の計画においてどのような位置づけになっているか、別の委員会でもどのように議論されているか、情報提供をさせていただきます。

まず、松江市総合計画と、第3期松江市中心市街地活性化基本計画とありますが、第はな

いので修正をお願いします。3期松江市中心市街地活性化基本計画でございます。左下の地図ですが、黒点線で囲まれたエリアが本市における中心市街地活性化基本計画エリアでございます。その右に赤丸が記してありますが、こちらが本検討エリアとなります。この部分を拡大したものが、右図になりますが、エリア内の松江城、駅を含む中心市街地のエリアビジョンとなっております。各エリアの目指すべきコンセプトを策定しておりますが、本エリアは空白地でコンセプトがない状況であり、この検討会議で検討する必要があるエリアとなっております。一方、未利用公有地につきましては、エリアビジョンと整合を図りながら、活用を検討していく方針とされております。

続きまして、6ページをご覧ください。MATSUE 観光戦略プランでございます。本プランは国際文化観光都市松江の将来像を市民、事業者、行政など観光に関わるステークホルダーが共有し、戦略的チャレンジを推進する計画でございます。戦略の中には、MICE の誘致とスポーツエンターテイメントの活性化などがあります。本エリアには公園内に総合体育館もありますし、今後検討していく中で、こうした2つの戦略の可能性を有しているエリアであると考えています。

次に、スポーツコミッションです。これは、スポーツ大会、観光、宿泊などの支援をワンストップで行うためのプラットフォームとして来年3月に設立が予定され、アリーナを始めスポーツ施設と深い関係性のある計画となっております。

7ページをお開きください。本市の交通政策についてです。本エリアでの公共交通といたしましては、別紙に路線図をつけております、「どこでもバスマップ」の真ん中に、緑色で北公園と記されています。本エリアはオレンジ、水色、緑、赤の4路線のバスが通っています。約45分に1台の間隔で松江駅方面にはアクセスできる状況です。また、スサノオマジックの試合の際には、公共交通を利用していただくため、スサノオマジック、一畑電鉄、一畑バス、本市と交通局で協定を締結し、本年11月よりスタンプラリーをスタートさせ、試合終了時には場内でダイヤ紹介をされている状況です。

最後に8ページをご覧ください。現在進められている松江駅前デザイン会議です。松江駅前エリアについてあるべき姿について、検討を進めております。現段階でお示しできる資料では、駅を中心として、東西と大橋川に向けた歩行者の導線作りを検討されておりますが、先の会議では、松江市総合体育館周辺エリアとの連携についても今後進めていくべきではとの意見も出ていたとお聞きしています。

駆け足ではございますが、松江市の計画等といたしまして、以上報告させていただきます。

(太田会長)

ありがとうございました。続きまして、第1回目の会議後に実施しました「(2) アンケート結果」についてご報告をお願いいたします。

報告(2) アンケート結果報告

(藤原公園緑地課長)

9 ページをご覧ください。前回会議で承認いただきましたアンケート内容を3つの方法で実施しました。1つ目は、15歳以上の市民1000人を無作為抽出して、郵送アンケートをしました。2つ目は、北公園、県立プール跡地の利用者様に、今回業務を支援していただいているアテナさんが現地へ行き、利用者への対面アンケートを実施しました。3つ目は、スサノオさんのご協力をいただき、観戦者2620人を対象に、QRコードのついたカードを配布しWebアンケートを呼びかけました。3つのアンケートの結果は、右上の表にございますが、有効回答数934人でした。

アンケート結果については、10ページをご覧ください。全体の評価、イメージについてまとめたものがございます。レーダーグラフにまとめてありますが、結果といたしまして3つの利用者すべて同じ傾向が出ています。赤印で囲っている箇所、「きれい」、「治安が良い」など5項目で高い評価となった一方、「魅力的なお店がある」等、3項目で低い評価となっています。

続きまして、11ページをご覧ください。本エリアで優先的に取り組んでほしいことを1つ選択いただき、回答いただきました。主な回答としては、周辺店舗の充実やイベントの開催など、賑わい創出のニーズが高くなっています。

12、13ページをご覧ください。北公園の広場を整備する場合と、県立プール跡地に求める施設について回答いただいております。北公園では「屋根付きの広い空間がほしい」、「木陰（日陰）のある休憩スペース」、さらには「こどもが遊べる遊具」に高いニーズがございました。一方、県立プール跡地では「カフェやレストランなどの飲食店」、「こども向け屋内遊具施設」、「日用品や生活雑貨を購入できる商業施設」を望む声が多い結果となっております。なお、スポーツ観戦者の方からは、「スポーツのできる施設」の要望が高い結果となっております。

14ページには、その他の自由記述を示しています。3つの回答者の中で、共通しているのは、駐車場に関する意見、イベントスペースとしての活用についての意見でした。市民アンケート、現地アンケートにつきましては、こども向け施設、公園・広場の整備についての意見が共通して出ております。なお、説明した内容を15ページに載せておりますので、ご確認をいただきたいと思います。また、回答者属性や、年代別のクロス集計につきましては、事前に送付させていただきました参考資料によりご確認いただきたいと思います。以上、アンケートの報告とさせていただきます。

(太田会長)

ありがとうございました。

続きまして、事例紹介に移らせていただきたいと思います。中村委員と佐々木アドバイザーから参考事例のご紹介をいただきたいと思います。まずはじめに中村委員、お願いいたします。

報告(3) 事例紹介

(中村委員)

事例発表というところでご要望頂戴しまして今回発表させていただきますが、バスケットボールの試合を通じて全国を回っている状況から、スポーツを中心としたまちづくりの事例としてあげさせてもらいたいと思っております。ただ、それぞれまわっているところが今回の発表を前提としたものにはなっていませんので、多少ずれた内容になるかもしれませんがそのあたりはご容赦いただければと思います。

まずは、Bリーグの状況をご説明申し上げます。B1で24クラブ、B2で14クラブ、B3で17クラブの計55クラブが41都道府県に展開しております。日本海側にあるものは、B1では島根と秋田、B2では山形と富山、B3では新潟と金沢になっております。松江市とコミュニティサイズが比較的近い都市も少なくない状況です。秋田市や新潟県長岡市、沖縄市、現在国スポが開催されている佐賀市など、スポーツを通じたまちづくりに熱心に取り組んでいる地域も多数ございます。

そうした中で、今回富山市を事例としてあげさせていただきました。アウェーの試合に帯同して出かけますが、同じ日本海側にあり、人口は松江市の2倍、面積も松江市の2倍、人口密度はほぼ同じ、ということで、大きさは違いますが比較的、比較が容易なまちをあげさせてもらっています。富山市にはサッカーのJ3、バスケットボールのB2があります。富山県内には高岡市に独立リーグのプロ野球チームがございます。

富山市の中心地のマップです。JR富山駅が玄関口となっており、JR富山駅を中心に、富山ライトレールが市内をまわっています。宇都宮市もライトレールが出来ていますが、宇都宮は駅の東側しかなくて、西側の繁華街には展開していないので、地元のタクシーの運転手さんから非常に不評でした。富山は町全体にライトレールがある形になっています。また、JR富山駅を中心に、富山県庁などの行政施設や富山城址公園、環水公園等の観光施設、富山市総合体育館、各種美術館が徒歩圏内に点在しています。また、宿泊施設や繁華街もJR富山駅から徒歩圏内にありまして、JR富山駅を中心にコンパクトにまちができています。

JR富山駅ですが、2006年に富山ライトレールが開業しました。2015年に北陸新幹線も開業しています。北陸新幹線の開業に合わせて、駅横に大型の商業施設がオープンしておりまして、駅前広場も整備され、休日にはステージイベントや青空市場のような市民イベントも開催されておりました。

富山市総合体育館ということで、駅の北側にあります。富山駅から徒歩10分、非常に至近となっています。この富山市総合体育館の北に環水公園という公園がありまして、さらに体育館と環水公園の間に広場がありまして、ここでもイベントが開催されています。たまたま行った時にはトヨタさんのランドクルーザーの試乗体験会、その横で子どもさん向けのスケートボード体験会をされていました。

残念ながら富山グラウジーズがB2に降格しましたが、島根スサノオマジックと同様、平均入場者数は4,000人以上を達成しております。富山グラウジーズの特徴としては、松江市と同じく県庁所在地であり、客層も島根スサノオマジックと近くて、40代を中心にファミリー層が非常に多くなっています。

先ほど駐車場の話が出ていましたが、富山総合体育館の駐車場は270台ほどありますが、試合の時には利用させておりません。ほとんどの方がJR富山駅からの徒歩、もしくは近隣の有料駐車場を利用されて大移動されているというふうになっています。松江市総合体育館については、敷地内、公園内に380台ほど、旧県立プール跡地で600台弱、あわせて900台ほどの駐車場を準備させていただいておりますが、富山の方はこういった状況になっております。

これが富山市総合体育館の位置です。その北側に富山環水公園があります。人工で作られた運河ですが、夜にはライトアップされて非常にきれいな空間となっています。公園の中には、世界で一番美しいと言われるスターバックスがありまして、富山市民の憩いの場・誇りの場ともなっています。富山駅から環水公園までは11分、体育館からは2分以内で到着できるロケーションになっています。日曜日の朝には犬の散歩やジョギングに歩く市民の方の姿が多く見られました。

富山城址公園とその周辺については、富山城はJR富山駅から見ますと南側にあります。富山県庁や各種美術館があります。これらも富山駅から徒歩圏内で、商店街の中にイベントの出来る屋根付きのスペースが複数ありまして、そこを歩いていく形になっています。私が訪れたときにはアイドルイベントがやっております、たくさんの方であふれかえっております。次の日の朝に散歩に出かけますと、富山商業高校のサークル活動で、手作りクッキーなどの即売会をされていました。

これまで紹介したスポットは、すべて歩いてまわることが出来ますし、雪深い北陸にありまして、屋根付きで移動できるところが非常に便利が良いなと思えました。屋根がないところでも地下水をくみ上げて雪を融かす融雪パイプが設置されておりまして、主要道と歩道は水浸しになるくらい雪が融けやすい状況になっています。

最後は勝手ながら私見をあげさせていただきます。JR富山駅を中心に徒歩圏内に観光施設、繁華街、おもてなし施設が点在しておりまして、世界一きれいなスターバックスや、ブラックラーメンなどユニークなコンテンツも豊富になっています。富山グラウジーズはB2に落ちてしまいましたが、12万人以上の入場者が富山市総合体育館まで歩いて来場して、交通ストレス無し、来場者の方も満足度が高いというふうに聞いております。総じて、日本海側の中核都市として、徒歩、屋根付き、イベントがキーワードとしてこの3つが参考になるのではと思います。交通インフラに関しては全く参考にならない部分がありますが、アクセスするにあたり、駅から歩いてくるとか、非常に雪深い北陸でありながらもそのために屋根を設けたりとかやっておられまして、歩いてまち巡りが出来るというところで非常にコンパクトなサイズではないかと思えます。松江市に関しても、いろんなアリーナに行きます

が、駅から歩いてこんなに近いアリーナは他になく、まちの真ん中にこんなに緑があるスペースもなかなか無いので、やはり先ほどのエリアのゾーニングからすると、今は白地ですが、そういったことも考えながら、まち巡りが出来る、ということの一つのポイントにするべきではないかと思います。私からの事例紹介を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

(太田会長)

ありがとうございました。それでは、引き続き佐々木アドバイザーからお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(佐々木アドバイザー)

改めましてURの佐々木でございます。最初にURのご紹介をさせていただきます。

私どもは国土交通省所管の公的機関です。昭和35年の日本住宅公団からスタートし、国の機関ですからまちや住まいに関する政策の変化に合わせて組織も変わってきて、現在の都市再生機構に至ります。60年くらいまちづくりや住まいづくりをやっている組織です。現在の大きな柱は、都市再生、賃貸住宅、災害からの復旧・復興支援の3つです。個人的には東京で採用になりまして、多摩ニュータウンのUR賃貸住宅整備、千葉での団地建替え、都市再生の面では横浜などで取り組んだりしました。去年の4月に広島に赴任しました。微力ながらこのエリアが良くなるようお手伝いさせていただければと思います。

私どもは大阪にある西日本支社の、広島の事務所にあたります。大阪では最近だと梅田のうめきたの広場が出来たニュースをご覧になった方がいらっしゃるかもしれません。我々は広島で中国地方のまちづくりのお手伝いをしております。地方都市においては、うめきたのような大規模な都市開発というよりも、中心市街地の活性化などソフトを含めた取り組みを中心にお手伝いしています。

今日は総合体育館周辺エリアをスポーツ・商業・遊び場として、多くの市民が集う賑わいの拠点にするための事例紹介をということで、お時間をいただきます。

まずは、この場所はどういう場所なのか見ていきたいと思います。皆さんよくご存じのことですが、松江市の中心市街地にあります。ICもあり周辺から車で来るのにも便利かと感じています。

先ほどバスのご紹介がありましたが、駅との関係では、バスも比較的多いですし、例えばレンタサイクルとか新しいモビリティが出てくれば、さらに駅との関係が良くなるかもしれません。一方で、くにびき道路に接していて北に行っても南に行ってもICにつながりません。広域も含めいろんな方々が車で来やすい立地だと感じます。個人的には例えば道の駅みたいな広域交流拠点の可能性もある立地かなと思います。

昔からスポーツの場所だったらしく、試合等目的のある人が来るところだったのかなと思います。くにびき道路が出来たこともあり、より広くあちらこちらから様々な方が気軽

に来ていただけるような立地だろうと思います。広域のアクセスの良さはこの場所の強みの一つだと感じます。

次に、今回の敷地はどういう広さなのか、例えば旧県立プール跡地にはどのようなものが入るのか、具体的な例を並べながら見ていきたいと思います。これが今の体育館周辺の地図です。左側、道路も含めて約 3.1ha と書いてありますが、道路と南側の駐車場を除いた旧県立プール跡地のみだと約 2.2ha となっています。右側が約 8.2ha となっています。これはどのくらいの広さかというと、少し北に約 1.3ha のイオンがあります。これが入ると少しおつりが来るくらいの広さになります。お城の西側のマルイさんは約 1.8ha で、だいたいすばっと入る大きさになります。

また、市 HP の資料に参考事例として出ていた深谷テラスパークが約 4.7ha、北海道の北広島市のボールパークが約 3.6ha。このようにいろいろなスケールのものを並べてみると、施設の中身は別にして、敷地の大きさとして、感覚としてどれくらいの広さでどのくらいのものが入って、どのくらいのものが入らないかというのが分かるかなと思います。

ここからは 3 つ事例をお持ちしましたので、ご紹介します。3 つをお持ちしましたが、これが目指すべき正解だということではなくて、スポーツ・商業・遊びというキーワードで考えるときに、各要素が入っているかどうかの観点で探してみました。また、単純に子どもが遊びに来る場というだけでなく子育て層の居場所にもなったり、試合とか練習の目的で来るだけの場所ではなくふらっと来て身近にスポーツに触れられたり、商業も単にお店が並んでいるというよりは、エリア全体のコンセプトがちゃんとあって全体の魅力が高まるようなものになっているとか、小さいながらもまちづくりのような事例だといったなと思いました。今回、スポーツ・商業・遊び場ということですが、スポーツ+商業+遊び場という足し算より、スポーツ×商業×遊び場のような、かけ算的に全体として良くなっている事例かどうかなど見ていきたいと思います。

1 つめは、安満遺跡公園、大阪府高槻市にあります。JR 高槻駅から徒歩 10 分くらいの所です。元々京都大学の農場や弥生時代の遺跡があったのを、遺跡を活かしながら市の公園にしたところです。私ども UR には公共団体の公園づくりをお手伝いする部門もあり、この公園の一部について計画や整備を私ども UR がお手伝いしています。真ん中に歴史拠点があり、その周りを緑の空間が囲んでいます。この広々している空間が遺跡の空間です。遺跡のない空間が西エリアと東エリアで、民間の建物が色々並んでいてサービスが提供されています。西エリアには公園全体の活動拠点となる大きな建物やカフェがあり、高槻市立の子ども未来館という子育て支援の施設が整備されています。東エリアには大きい屋根があったり、スターバックスなどのカフェがあります。市の公園で、指定管理者制度を使っていて、遺跡公園パートナーズという名前で、3 つの会社が全体の指定管理をしています。

西エリアはイベント時にはキッチンカーが並んだり、バルーン遊具が並んだりしています。また、パークセンターという市の建物がありまして、ここに人が集まってきています。イベントとかいろんな活動を指定管理者さん企画で実施しています。高槻市はガンバ大阪

のホームタウンの1つで定期的に子ども向けの参加フェスや、ヨガやダンスなど大人向けのイベントもあります。市民活動拠点とありますが、安満人倶楽部という市民活動団体が作られて、公園全体を舞台にしていろいろな市民活動が展開されているようです。市の施設ですが、指定管理者さんが工夫して主体的に公園づくりをなさっています。また、この施設の一部にはポーネルンドという遊具会社、遊び場づくりの会社が入っています。市の施設なので市が公募してこの空間をポーネルンドさんにお使いいただいているようですが、有料であるもののポーネルンドの遊び空間があって、いろいろなイベントや親も含めた遊びや知育の施設となっています。

東エリアでは個別事業者さんや指定管理者さんが、設置許可制度を使って市の公園に民間施設を作っています。この大きい屋根は指定管理者さんが投資をして作っています。大屋根の下で子どもが集まったりしています。それぞれの会社さんは公募で選定されているようですが、キャンプ用品の会社、ドッグランのあるペットカフェなどが建てられています。あと細かいですが、こちらの茶色い箱をお見せしたくて写真を用意しました。これは屋外コンセントが入ってまして、このような屋外電源があちこちにあります。さっきお見せしたキッチンカーも発電機を回すと結構音がしますが、ここではキッチンカーを置くような所には電源や水が必ず通っていて、広場の使い方を想定して設計していることがよく分かるのでご紹介してみました。

また、子どもが跳んだりはねたりする遊具について、普通の市の公園だとなかなか設置できないかもしれませんが、指定管理者さんがしっかり管理していらっしゃるのだからかと思えます。これは管理運営者の方がおそろいのユニフォームを着て見回りをしている写真で、若い方から年配の方までいろいろな方が働いているなというのが見て取れました。

拠点施設などもある左下の約4.1ha部分を拠点として、ここから全体を管理しています。

もう一つは、大阪市の天王寺駅の目の前のてんしばというところですが、天王寺公園という動物園や美術館などがある大きい公園ですが、もともとは全部有料ゾーンだったらしいです。有料ゾーンの一部を無料にして、無料にする部分を、民間事業者さんを選び改修して運営してもらっているという事例です。真ん中に細長い芝生広場を作って、それを囲むように木造平屋の様々な店舗が並んでいます。ここは地下が駐車場になってまして、それもあってあまり高い建物は建てられないのだと思います。この事業者さんですが、近鉄不動産さんです。近鉄不動産さんは目の前のハルカスもやってらっしゃるのですが、ハルカス含めてエリア全体の価値を高めていこうということかと感じました。中央の広場にはたくさんの人がいて、芝生の広場を囲んで道のような空間がありまして、道に面していろいろな建物や商業施設が並んでいる、屋外型のショッピングセンターのような形になっています。この道に面して左側はペットショップです。左下は産直施設、右はスポーツ用品店です。フットサルもすることが出来ます。駅に一番近いゾーンは飲食店がいくつかかたまっていて賑わいがあります。また、飲食店の座席を屋外にはみ出させています。ルールを作ってやっていると思いますが、季候の良い時期はととても良いだろうと思います。

それから、先ほど高槻でもご紹介したボーネルンドさんがここでも入ってしまっていて、子どもが遊び、育つ空間になっています。動物園に近いゾーンは別の事業ですが、同様に近鉄不動産さんが事業者です。動物園の入り口と連携した大きめの商業施設で、天王寺動物園の出口にもなっていて、お土産屋さんがあったり、子どもの体遊びができたり、一日子どもが遊べるようなゾーンになっています。

このように、約3.6haにぎゅっと様々な施設を入れ込んであって、天王寺公園全体の魅力を高めるようになっています。事業者さんが広場などすべて整備をして、広場部分は市に無償で移管しているようですが、運営事業者さんの投資額が多いでしょうから、その分、収益性が高まるようないろいろな工夫がされているのかなと思います。

最後、約2.8haほどのひろしまゲートパークです。旧広島市民球場跡地整備事業を広島市さんが公募されて、資料に記載しているこういう企業グループさんが運営されています。NTT都市開発さんはこの隣のクレドを運営していますし、広電さんやバスセンターさんなど地元の企業がタッグを組んで、運営されています。毎週のようにイベントが開催され、広島の新しい人の流れができたとよくお聞きします。ハレとケという観点からすると、ハレ感のほうが比較的強いかなと個人的には感じます。ご紹介した高槻と天王寺はイベントがなくても気軽に普段着でいけるような感じもあって、ハレとケでいうと、ケの要素も感じられると思います。なお今日はお見せしていませんが、ひろしまゲートパークの近くには最近サッカー場の方の屋外施設も出来てしまっていて、そちらの方は芝生の広場を囲むように商業施設が並んでいて、小さいお子さんがいるご家族などに心地よい空間になっていると思います。

ということで少し時間がかかりましたが事例をご紹介しました。単に遊具が並んでいたら賑わいが出来るか、大きい屋根があれば人が勝手に集まるかというとなかなかそうではないかもしれないので、例えば運営する人や企業さんがいらっしやって、使われ方にしっかり目を配って、楽しく使えるようしっかりサービス提供もして、市民の方も加わり、企業さんも楽しく参加してもらって、みんなで賑わいを作っていきましょうというのがあれば良いのではないかと思います。

もう一つ、旧県立プール跡地は無限の広さではない、その広さをどう考えるかが大事だと思います。それから前回、容積率の関係で体育館側に新しい建物をこれ以上作るのは難しいという話があったと思いますが、それも含めて北公園全体の中で、この敷地をどう考えるか、重要な視点かなと思います。以上です。

(太田会長)

佐々木アドバイザーありがとうございました。中村委員、佐々木アドバイザー事例紹介いただき誠にありがとうございました。それでは報告事項全体を通して、ご質問等ございましたら、よろしくお願ひします。湯町委員お願ひします。

(湯町委員)

私どもの団体は市民の様々な競技団体を統轄しているところでございまして、今回こういった会議を設定されるということで、いわゆる大会を運営する側の人にお話を聞いてみたところ、今回総合体育館の改修をされるということで、消防法上の問題ですが、体育館から観覧施設に名称が変わるということでございます。あくまで消防法上なので、体育館は体育館なのですが、そういうふうになります。

あと、今年からオロチフェスが2日間開催されて非常に賑わって良かったなと思っています。また水郷祭のステージイベントも総合体育館で開催されました。何が言いたいかというと、こうやっているいろんな計画の紹介を見ましたが、賑わいというキーワードが所々出てきます。賑わいだけを追求していくと、イベントやコンサートなどがどんどん総合体育館のメインアリーナで開催されるようになるのではないかと危惧をしています。スサノオマジックさんが、準備の日数を含めて年間50日くらい総合体育館を使われます。1年の7分の1、これを土日にするると大体5分の1を使用いただいている形です。これはこれで賑わいできて良いことだと思っています。スサノオマジックさんが設立された当初にはかなり市民のスポーツ団体の皆さんとの軋轢があったのも事実でございまして、これ以上はこらえてくれ、という声が競技団体の方にはあります。ただ、賑わいをつくっていくということは非常に重要なことだと我々も思っておりまして、もし本当に松江市さんが賑わいの方に舵を切られるならば、県立プール跡地に第二サブアリーナを作っていただかないと、大会運営が出来なくなるのではないかと、このことを心配している所です。そのあたり松江市さんはどのようにお考えでしょうか。

(スポーツ課長)

おっしゃるとおり、総合体育館の改修ということで、スサノオマジックさんがBプレミアムを目指していらっしゃる中で、その中でふるさと納税の寄附などをいただきながら、そちらに適応できるような施設に改修をするようにしているところでございます。ただ、これは前提といたしまして、記者会見の中でも、社会体育施設であるということをお大前提として、改修を進めるというふうにしております。従いまして、市民の皆さんのスポーツ利用というのを第一におき、その上でスサノオマジックさんにもしっかりとホームアリーナとして使っていただきます。改修というのは、やはりエンターテイメント性あふれる構造等に改修していくという考えを持っていますので、現段階で今の総合体育館というものをスポーツ課としてイベントに舵を切るというものではなくて、スサノオマジックさんのホームアリーナとして活用していただきながら、社会体育施設として、市民の皆さんにスポーツの場として十分利用していただく、そういった施設づくりとして考えているところでございます。なので、今、スポーツ課の中で第二体育館を建てましょうといったことは考えておりません。

(湯町委員)

お話を聞いて安心したところでございます。どうしても収益性のことだけを考えていま

すと、例えばコンサートなどイベントを1つ開くと、会場使用料として1回あたり数百万の収益があるようです。そういうのがたくさん入ってくれば、松江市の財政状況のことまで私が言っただけとはいえないとは思いますが、今後そう舵を切らざるを得なくなることはないようにやっていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(太田会長)

ありがとうございます。時間も無いので後ほど皆さんには意見交換の場を設けさせていただきたいと思っておりますので、まずは一旦ここで報告事項への質問は締め切らせていただきます。

3. 議事

議事(1) エリア構想の方向性 (意見交換)

(太田会長)

それでは議事に移ります。エリア構想の方向性について、報告にありましたアンケート結果や事例などを参考にしながら、委員の皆様にご意見・アイデアを出していただきたいと思っております。お出しいただいたご意見につきましては、前面に映写した画面にリアルタイムでまとめていきたいと思っております。この意見交換会では1人ずつご意見をいただきまして、約40分間させていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、堰委員よろしくお願いいたします。

(堰委員)

商工会議所青年部会長の堰でございます。先ほどの湯町委員の体育館の利用について、なるほどと思うところがありまして、確かに体育館なので、市民の体育利用や、スポーツイベント、競技、そういった本来の目的は大事だと思った反面、私もこの商工会議所青年部の活動は全国にあります。MICEの話が出ましたが、さっきも会議していましたが、今後、松江でも法人会青年部会の全国大会が2年後にあります。また、商工会議所青年部の中国ブロック大会という2,000人規模のものが5年後に予定されており、多分コンベンションはこれからも多くなってくると思います。

アリーナ改修完了が令和8年9月で、法人会の全国大会が令和8年11月なので、これが順調にできるのかどうかということをお先ほども危惧した話をしていました。体育館ではありませんが、ここしかないというところを今後どう考えていくかというのは、先ほどの逆の考えですけれども、ここが体育の場ということで年間に例えばコンベンションとしてはこれだけしか利用は抑えてくださいというルールになったときに、松江市としてもコンベンション施設や、今ホテルも足りない、駐車場も足りないという中で、誘致をする上でどういった、いわゆる箱物のようなものを用意するかということは、逆に大事な目線かなと思って、経済の分野の参加なので発言をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(太田会長)

貴重な意見をありがとうございました。秋田委員お願いいたします。

(秋田委員)

島根大学の秋田です。今回のお話を伺って、若者の意見ということでお伝えしたいのは、やはりスポーツはもちろん先ほど湯町委員がおっしゃったように、スポーツを活性化して市民の交流の場ということで体育館を活用していくというのが第一だと思います。それプラス山陰でいろいろしていく上で、若者がより自由に活動できる場というのが僕は大切だなと感じています。例えば、少し車を借りて出かける場や、そういった松江に訪れる理由になる場所になればと思っています。きっとそのスサマジを目的にして来られている若者、山陰の中からたくさんいらっしゃると思いますが、それプラス付加価値として商業施設や、先ほどの富山市の話であったスターボックスのような、大きな目的になるようなものがあつたら、より活発な利用につながるのではないかと感じております。

(太田会長)

秋田委員ありがとうございました。繁浪委員、ご意見・ご質問等々ございましたらお願いいたします。

(繁浪委員)

アンケートについて、前回会議後少し直しをお願いし、多目的というような表現に変えていただいたのと、避難場所を選択肢に加えていただいて、ありがとうございました。アンケートの中でもその結果として多目的に利用できる場所があるということや、避難所ということで評価されているのを改めて、良かったなと個人的には思います。城東地区の特徴としては、約4,000世帯に8,000人弱が所属しています。1軒あたりに2人住んでいない地域となっています。どういうことかということ、アパート等、非常に利便性が良いので、地元の人でない人、いわゆる転勤してこられる人がマンションを利用されることの多い地域です。生活圏としては、県庁があったり駅があったり、非常に喜ばれる地域です。ですが、1軒につき、2人も住んでいないということが世帯の現状となっております。人口は減っておらずほとんど横ばいです。ということは、外からいろいろ人が入ってきて出て行かれる。小学校も幼稚園も半分以上が転勤されていきます。そういう地域だということです。非常に便利な場所ですが、実は、子どもたちが安心して遊べる場所というのが県立プール跡地の広場となっていて、子どもたちが自転車に乗ったり、安心して走り回ることができる場所になっています。

それから、大型バスをここに停めておいて、また迎えに来る、という形になっています。ここ自体を目的にするのではなく、賑わいとは違う、見えにくいかもしれないが活用されて

いる場所だと考えて良いかと思えます。ここに建物を作ってしまうと、この周りにある住宅の方にはかなりの負担を与えてしまうということになります。例えば、バスの排気ガスが流れ来たり、コンクリートにすることによって熱反射が発生したり、そういったことが住宅地に影響してきます。そして、この周りの商店街は何年もある程度継続して存続しています。どんどん変化していくのではなく、ここでやっていけるということはある意味ではそこをベースにしながらか売ができたり、利用している人もある程度のニーズがあるということになります。大きな建物を作ると、そこが全部潰れてしまうということが私は気になる場所です。大きなスーパーができることによって、小さな商店が潰れていきます。大型化によって大事にされるべき地域の小さなお店が潰れていくというのが、城東地区にも起きています。そういった意味で、この地域を新たな人が集まる大きなものをつくっていくことにすると、その周りの方の商店や住宅地に大きな影響があると考えます。

このアンケートの中にもありましたが、駐車場が本当はない、という中で唯一確保できているところがここだと考えています。そういう風に考えると、ここに何かを作るというよりは駐車スペースのままで、できれば、トイレがほしいです。それから、何かあったときに、城東地区の中では、総合体育館とこことお城だけが、浸水が及びにくい箇所であるので、一時避難場所として確保しておく必要があるとずっと考えております。

(太田会長)

貴重なご意見ありがとうございました。高須委員よろしく申し上げます。

(高須委員)

前はオンラインで参加させていただいておりました。ありがとうございました。繁浪委員さんがおっしゃったところは前回もお話が出ていて、目的がないから自由に使えるよねという意味では、隙間のような空間は必要だろうなと感じます。一方で、この会議に参加するにあたって、私自身何ができるかなということを考えると、普段私は駅前のテルサを利用しているものですから、テルサに通っていらっしゃる人に「テルサがなくなる」件について聞いたところ、いろんなところで新しい構想があるけれども、やはり昔から住んでいる人として、どんなものが必要だと思いますか、というところを聞いてみました。そうすると、やはり駅前にコンベンション施設は必要だということではテルサの話はもちろん出てきました。

一方で、先ほどアドバイザーさんがおっしゃった道の駅というのも出てきておまして、道の駅がないよねという話がありました。でもここに置くかと言われると、それは少し難しいかなという話になっていて、むしろそれは宍道湖畔のところにあれば毎週にでも楽しみに行くのにね、という話をしています。あとは、同時にこのことを考えるのであれば、STICはどうするのか、知りたい、という話が出てきます。これはいろんな人に個人的に聞いてみて初めて分かったことで、いろんな意見がありますが、市民の方は意外にも昔からいっし

やる人ほど、それぞれの地域に元々何があって、それが今うまく利用されていないということもご存じでして、そのときに、他の計画についても情報が欲しいというお話が出ます。今、他の施設で従来だったら交流の場所だったSTICみたいなものが今うまく活用できなくなっています。それはおそらく車の問題だと思うのですが、そういった所も合わせて考える必要があるかと思います。

(太田会長)

ありがとうございました。中村委員よろしくお願ひします。

(中村委員)

大前提としまして、北公園と旧県立プール跡地で、旧県立プール跡地は中に入ったことがない方もおられるかもしれません。石垣があって、中がどのような感じになっているか外から見るとなかなか分からない所になっています。今の北公園を補完するような形でもって、旧県立プール跡地を考えるのか、そうではなくて、ここを一体のエリアとして何か一つの考え方を持って進めるのか、というところが大きなポイントではないかと思ひます。そう思ったときに、例えば、くにびき道路を挟んだ東西の敷地をどのように繋げていくのかが一つのポイントかと思ひますし、その話の中で、今あまり使用頻度が低いと言われているような、北公園の敷地の活用を考えていかなければならないと感じました。

今、高須委員さんや佐々木さんのお話でもありましたが、道の駅は良いかもしれないと思ひたのですが、以前、鳴門の方に行ったときに、鳴門の道の駅の中にも子どもさんの遊具があったり、おもてなしスペースやイベントのできる会場、駐車場があり、ここでなければいけない理由はないけど、道の駅というのは一つのアイデアで、おもてなしや市民利用の憩いの場としても一考の余地はあるのではないかと思ひました。

(太田会長)

ありがとうございました。湯町委員よろしくお願ひします。

(湯町委員)

県立プール跡地について、先ほどちらっとお話が出ましたが、北公園との一体的利用について具体的に考えていくべきではないのかなと思ひています。スサノオの応援で県立プール跡地に停められますが、横断歩道を渡っていくのでとても混雑するというこゝで、例えば歩道橋でもあればもっと使いやすくなりますし、今いろんなスポーツや広場としても使われていますが、橋北にはないスケートボード場などアーバンスポーツといったものができるような施設ができれば、賑わいなど出来てくるのではと思ひます。

(太田会長)

ありがとうございました。皆さん方のご意見を頂戴いたしました。私たちから一言ずつ感想を話します。今島根スサノオマジックは開幕4連勝ありがとうございます。今総合体育館のリフォームをさせてもらっていて、5,000席に増えます。今は17シーズン目でしょうか、島根県民、松江市民に定着してきたスポーツではないかなと思います。アンケート調査を見ても、スサノオマジックの関係でこういうことをやった、というご意見をたくさんいただき、非常に感謝しております。ただ、スサノオマジックだけで総合体育館の周辺を使うわけではないので、他の活用方法は諸々出していただかなければならないと思っています。ただ、スサノオマジックは年間30試合ありまして、平均4,000人~5,000人来られるので、なかなか地方として毎週土日に4,000人集まるイベントも出来ないという現実問題ではないかなと思います。経済効果としてありがたいことではありますし、私も非常に喜んでいるところでございますので、このコンテンツをいかに、活かして今後伸ばしていくか、スサノオマジックとともにベクトルを合わせてやっていくのも手ではないかと思っています。

それと、高須委員さんから言われました、テルサの関係についてです。駅前開発の部分について、行政の皆さん方、商工会の皆さん方、市民の皆さん方と、どのような駅前にしていくかというのが大変重要なポイントとなっております。観光都市でございますので、駅前の開発はこれから必要不可欠だと思っております。そこで、宿泊施設もたくさんありますし、駅前開発とともにくにびき道路が南北に一本化されておりますので、ここを同時に何か施設など出来れば良いのではないかと考えています。テルサがなくなるかは議論中だと思いますが、駅前の開発とともに、ここの開発をセットで連携・連帯して進めるべきだと思っておりますのでございまして、テルサや駅前と一緒にやっていただければ、もっと具体案が出てくるのではないのでしょうか。

また、繁浪委員さんから言われました、駐車場は必要だと思います。災害が起きた際の避難場所等々ということでございますが、今後も災害が起こったときには活用できるようになっていると報告を受けていますし、これからは災害対策としての体育館の使い道についてはもっともっとやっていく必要があると思っておりますので、この場所も避難場所として使える場所があってもいいのではないかというのが感想でございます。

また、若者が活動できる場、屋外は暑いですね。夏のイベントはもう外でやらない方が良いと思います。だんだん祭りを総合体育館の中でやりましたが、外でやると大変なことになると思います。これからは総合体育館の中やメッセの中で夏のイベントをやるというのが増えていくと思います。夏の夜は涼しいので屋外のイベントは花火だけで、今の気候変動の中で屋外の活用が難しくなってくるのではないかと考えています。抽象的な部分では、メッセがありますので、コラボできるような施設の在り方を考えても良いのではないかと思います。以上が私の意見です。

副会長お願いします。

(白水副会長)

最初に、アンケートを短期間で整理いただきまして、松江市さま、事務局さまには、大変忙しいところありがとうございました。現状、地域のニーズがはっきり分かりましたので、こういったものを活かしながらどういうまちづくりをするか考える材料になったと思います。それを踏まえて2点コメントをさせていただきたいと思います。

1点目は、地域を経済的な視点で見て、地域にお金が落ちる施設を考えていただくことを、反映させていただきたいという思いがございます。先ほど佐々木さまから全国の事例をいただき勉強になりました。ありがとうございます。あの内容を見ていてもスポーツ、飲食、子育て、いろんなシナジーですね。民間のビジネスを活用しながら地域に根ざした仕組みを作っていくか、というのをどの地域も皆さん悩んでいます。公的な資金だけでまかなえる時代は終わっていますので、いかに民間を活用するか、この視点がなければ結局財源的にも逼迫しておりますので、失敗している事例はいっぱい知っています。その観点で、ぜひ、民間の視点で、さらに地域にお金が落ちる、という考え方を浸透させていただきたいです。そういう観点でいうと、スポーツをしていただければ、おなかがすいて飲食につながりますし、加えて、お風呂やリラクゼーションなど、いろんな波及効果がある訳なので、こういうところを活かしたビジネスを検討いただけると非常に良いのではないかと思います。

もう1点は、他の委員の方からもありましたが、公益的な機能について十分検討していただきたいです。次のビジョンのところでも関係するかもしれませんが、先ほど太田さんからもありましたとおり、他の委員会ともしっかり連携して議論するべきという話をしまして、駅前のデザイン会議でも公益的な機能、防災機能やオープンラボなど、エリア全体でカバーできないところはしっかり連携して進めるようコメントがあります。先ほど高須さんからもありましたとおり、市全体の公益的な機能で不足しているものや、今度リバイスが必要なものはおそらくアンケートには出てこないと思いますので、こういう所は事務局がしっかり把握して、足りないパーツを議論する必要があると思います。以上になります。

(太田会長)

ありがとうございました。佐々木アドバイザーお願いします。

(佐々木アドバイザー)

道の駅、はちょっと言い過ぎました。狭義の「道の駅」となると制度的には複雑ですし、宍道湖沿いとか景色の良いところなどで考えるのが良いのでしょうか。狭義の「道の駅」ということではなくて、地域の方が日常の延長で来たり、市民の方が楽しみに来たり、スサマジがありますから県外の方も日本中から来るのを道の駅の「駅」の部分が表現しているのかなと思って例えば道の駅のような、と申し上げました。いろいろな駅があります。まちの駅、川の駅など、ひょっとしたらスサマジの駅でも良いかもしれませんが、近くの人から遠い人までいろんな人をお招きしておもてなしすることが出来るような立地かなと思います。以上です。

(太田会長)

ありがとうございました。各委員の皆様方から貴重なご意見をいただきました。アンケート調査を踏まえて、駐車場が必要だということで、いろんなご意見いただいております。アンケートからも分かるように、市民の利用のために一定の駐車場を確保しながら考えていくべきではないかなと補足させていただきます。委員の皆様のご意見を元にして、他に何か発言のある方はいただければと思います。

<一同、意見無し>

議事(2) 目指すべき将来像

(太田会長)

続きまして、ここからは目指すべき将来像について、いただいたご意見をおおまかにゾーニングしていこうと考えております。白水副会長お願いします。

(白水副会長)

先ほど申し上げたところで、大きな点といたしましては、こういった全体のニーズを把握できている一方で、他の委員会での議論や市全体の公益的機能の中で不足しているものも合わせて議論いただくと、非常に市全体の機能の連携が向上しますので、この視点はぜひ加えて議論いただきたいと思います。

(太田会長)

ありがとうございました。公益的な機能をもった施設を作るといってございしますが、他の皆さんはご意見いかがでしょうか。

(白水副会長)

具体的なイメージで言うと、松江駅前デザイン会議で議論されているのは、防災機能や島根大学との連携やオープンラボなど、学生さんがたくさんいらっしゃるのにこういう機能を使っていないのではないか、というお話がありましたので、こことぜひ連携しながら進めていただきたいです。ただ、当然、すべてをまかなえるかどうかは議論の話も方向性もありまして分からないので、他の委員会とも連携しながらそういった所をディスカッションしようという話は出ております。そういった意味合いでご理解いただければ幸いです。

(太田会長)

ありがとうございました。秋田委員、何かございますか？

(秋田委員)

今出ていない意見として、現状北公園と県立プール跡地のところで真ん中を横断するくにびき道路に焦点を当てていらっしゃる方が多いと思いますが、学生とのつながりとして学園通りからの視点を入れたらどうかと考えています。例えば、大学からの動線として、くにびき道路というよりかは、学園通りの方が需要が大きいのではないかと考えています。なので、先ほどのバスマップでも駅からの公園までのアクセスが主軸だと思いますが、大学からのアクセスや周辺の若者が集中するところからのアクセスも影響が大きいのではないかと考えています。

(太田会長)

貴重なご意見ありがとうございます。若い学生さんたちが利用される施設など、商工会議所の立場からするとありかなと思います。若い方が自分の考えでやりたいということはどんどん発言してほしいと思います。ご協力お願いしたいです。他に何かありますでしょうか。

(井原政策企画課長)

県立プール跡地とくにびき駐車場の空いている土地についてのアイデアを出していただいているのですが、北公園自体について、こういった機能が欲しい、改修してほしい、といった意見もいただきたいと思っています。

(太田会長)

湯町さんお願いします。

(湯町委員)

大会とかにいられたお客様や競技団体の方から聞いたお話ですが、北公園・総合体育館で試合をする、応援の方も車で来られる。それで空いた時間に松江城とか行ってみたいが、松江城の駐車場がなく車で行けない、バスで行こうとすると朝酌から来るバスが何時間に1つあるくらいだ、ということがあります。それでペダルポート乗り場に遊覧船を着けてくれないうか、という話がありました。毎日ではなくて、イベントのあるときだけでもやってくれると良いのだけど、と言われていました。パークアンドライドの駐車場にも船着き場を設けていただいで、車で来られた方はそこで降りて、松江城に行く、ということが出来ると面白いよね、という話を聞いたことがあります。

(太田会長)

ありがとうございます。出来そうですかね？

(井原政策企画課長)

メッセでコンベンションやったときに、試験的に運航したこともありますので、可能性としてはないわけではないです。

(太田会長)

今の公園の利用頻度はどうですか？

(藤原公園緑地課長)

利用頻度の方は、北公園にはペダルポート乗り場の他に、テニス場付近にミニ遊園地がありまして、バッテリーカーと汽車の乗り物があります。それ以外は自由使用なので、人のカウントは出来ないのですが、猛暑ということがありまして、平日の日中は非常に少ないです。ただし、土曜日曜や涼しくなるとV字回復でたくさんのお客様に来ていただいております。いろんな意見があって、小学校の帰りに子どもが家に帰らないということもあるかもしれませんが、そういった形で土日の利用は非常にたくさんの方々に利用していただいております。

(太田会長)

ありがとうございます。今年みたいに暑いと、休憩する場所として屋根や、水飲み場などの施設がないと今後これからの気候変動を考えて、大変だと思います。野外でやるイベントなどにも当てはまります。こういった施設を整備しないと今後必要になってくるのではないかなと、個人的には考えています。

(繁浪委員)

実態的なところでは、北公園のペダルの所は一時よりは使われていない感じがします。南側の方に駐車場があると、いわゆる公園にも立ち寄れるなという意見がありました。少し気になるのが、汽車の中にゴミがたくさん入っていることがあります。毎日のように散歩して、ゴミを回収されている人が居ますが、ゴミではないゴミもたくさんあり、若い人が利用しているのだと、嘆いておられました。管理するということが非常に大事なことになります。子ども広場の方のトイレや、周辺の草木で公園の中が見えなくなっています。それで防犯カメラをつける必要が出てきたのですが、ある程度中が見えるような形にして、オープンにしていかないと良い結果が出てこないことがあります。管理という所が、非常に大事になります。先ほどの県立プール跡地も草が生えていたり、住民さんが居ないので、そこを手入れする人が居ません。たまにゴミを拾っている方がいらっしゃいますが、北公園の方もスペースを作るとすれば、なるべくオープンにして、トイレなどもきちんと管理しやすいようにするのが大事だと考えます。

堀川渡って船も良いけど、もう少し直接的に、バンダイのキャラクターが入ったようなバスなどが、総合体育館から松江城まで東西に走れば良いのではないかと思います。大きくま

ちを回るとだめなので、直線的に、駅から北へ向かってつないで、1回降りるのが面倒くさいけど、面倒くさいのが良い、と思えるようなものが良いのではないかと思います。宍道湖の夕日スポットなどともつながっていくと面白いのではないのでしょうか。やはり北公園周辺だけではなくて、松江市全体でつながっていくことが必要で、島根町の方はきれいな海を見に来てほしいといっている状況もありますし、そういった時間をかけて松江を楽しんでもらえるプランがあれば良いなと思います。

(太田会長)

ありがとうございます。佐々木アドバイザーお願いします。

(佐々木アドバイザー)

資料5ページに上位計画の図があります。今回の検討対象は中活の計画エリア内ですが、各ゾーンからは少し飛び地的になっていて、各ゾーンとどうつなげるか、というのが公益性の議論や全体をどうしていくかという話になっていくと思います。その中でモビリティの問題は重要と思います。これまではL字の範囲をできるだけ歩くといった発想だったのですが、今回の検討対象を含んでより広域で考えると例えばレンタサイクルなど考える必要があると思います。また、これから自動運転などいろんなものが出てくるといいますから、例えば駅前を改修するときに、まだ分からないけど将来のモビリティ乗り場をつくっておく等、中心市街地全体をぐるっと回るようなことになるかもしれないですし、そういった議論は必要だろうと感じます。

(太田会長)

貴重なご意見ありがとうございます。高須委員お願いします。

(高須委員)

北公園そのものというよりも、住民側の目線として、くにびき道路を簡単に横断するために歩道橋のお話がありましたが、角のマクドナルドの所に入りきれない車のために非常に危険なことになっております。また、そのまま東に進んでいただいて、北公園に入るところが横断歩道はあるけど信号がないために、非常に危険な横断をされる方がおられます。くにびき道路ではない東側の南北の道路については、おそらく水道局さんの方にあるだろう空き地に駐車をされている方が、横断歩道のないところを親子連れで渡られる方が多いです。

そういう意味では公園や他の利活用を進める上で、周りの交通の所も合わせて整備する必要があります。小さな点滅の信号でもあれば安全なのに、というところが少なくともこの周辺には2カ所あるというのも検討する必要があるかなと思います。

(太田会長)

ご意見ありがとうございます。朝夕はもちろん混雑しますし、小学生もいますから危ないかなと思っています。高須委員の言われたように、セットで考えていった方が良いかと私も思います。貴重なご意見ありがとうございました。

(中村委員)

現在の北公園ということで考えると、春先は桜がものすごくきれいです。城山に子連れで上がろうと思うと結構大変ですが、北公園ならすぐ見ることが出来ると聞いたことがあって、その北公園の桜並木は活かしながら進めることが必要だと思っています。南東の角の遊具があるところについて、結局北公園の駐車場は200円かかる一方で、くにびきメッセの駐車場は3時間無料になっています。みなさん、メッセの駐車場に停めて、南東の角の公園に行っている方が多いです。そういった意味では南側に駐車場があると良いのではないかなと私も思います。合わせて、興行させてもらうときに、夜の興行であれば仕事帰りにそのまま会場に出向かれる方が多いので、駐車場というのはないと困るといえば困ります。

一方で、公共交通機関の利用促進や、SDGsの観点からしても、駐車場は本当に必要なのか、レンタサイクルなどを利用しながらアリーナ周辺の観光をするなど、他のクラブとは違った取組みも出来るのではないかと思います。

(太田会長)

ありがとうございました。他に何かご意見等ございますか。

(繁浪委員)

非常に危険な城東地区ですが、いろんな警察の方をお願いして、総合体育館からまっすぐ北に向かう横断歩道の出入りが難しく子どもが車にぶつかった事案があったので、信号をつけてもらえないかというお願いをしたことがあります。しかし、断られました。また、一畑バスの近くでも高齢者の事故がありました。横断歩道の設置をお願いしましたが、断られました。小学校やいろいろなところから要望が出ますが、簡単には横断歩道などをつけられないということを認識しておく必要があると思います。

(太田会長)

ありがとうございました。重要なことですので、そこも含めて議論して参りたいと思います。

それでは時間もそろそろ無くなってきましたので、目指すべき将来像について整理させていただきましたので、次回3回目の会議の時に、この将来像を元に、ビジョン構想をたたき台としてご提示できればと考えておりますので、引き続き、課題について整理していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

4. その他

その他(1)会議録について

(井原政策企画課長)

前回と同様、市のHPで公開することになっておりますので、文字起こししたものを委員会の皆様にお送りして確認をお願いしたいと思っております。

その他(2)今後の日程について

(井原政策企画課長)

3回目につきましては12月19日木曜日の15時～17時を予定しております。また、年度末3月の開催日程につきましては、議会等の日程によりまして変更をお願いさせていただきたいと思っております。日程につきましては早急に事務局から調査票をお送りして日程を決めさせていただければと考えておりますので、ご協力よろしくお願いします。

(太田会長)

ありがとうございました。以上をもって、本委員会に関わるすべての議事が終了いたしました。皆さま方には円滑な議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。それでは事務局の方、よろしくお願いします。

5. 閉会

(井原政策企画課長)

太田会長、スムーズな会の進行をしていただきまして誠にありがとうございました。また、委員の皆様におかれましても長時間に渡り、ご審議・ご意見いただきましたことを改めて感謝申し上げます。そうしますと、以上をもちまして第2回総合体育館周辺エリア未来ビジョン検討会議を終了いたします。本当にありがとうございました。